

清泉女子大学に進学される方への推薦図書

2026年 1月

清泉女子大学 PUPS

清泉女子大学に進学される皆さんに、教員が推薦する本をまとめました。

読み方は自由です。興味ある分野から何冊か読んでみるのもいいですし、なるべくたくさんの中から一冊ずつ読むのもいいと思います。今まで興味がなかった分野の本を読むのも面白いと思います。

感想文やレポートを書く義務はありませんから、読まないでいることもできます。でも、選りすぐりの本が集められていますから、そんなもったいないことをせず、ぜひ読んでみてください。

注:価格は2024年12月中旬のものです。

現在絶版、あるいは版元切れの図書の価格は示していません。

Kindle(電子書籍)版しかないものについては、その価格を示しています。

書籍版、Kindle版両方がある場合は書籍版の価格のみを示しています。

古典については紹介した図書(文庫など)として出版された年を示しています。

清泉女子大学附属図書館に所蔵があるものは、請求記号が入っています。

日本文化領域

◆ 日本語学分野

今野 真二『戦国の日本語 五百年前の読む・書く・話す』河出文庫、2021年、1,100円

「あとがき」で「戦国スタディーズ」を紹介

請求記号:090/清泉T/今野先生

今野 真二『日本語と漢字』岩波新書、2015年、1,034円

「漢字文化論」とのかかわりが深いです

請求記号:090/清泉T/今野先生

今野 真二『漢字からみた日本語の歴史』ちくまプリマーニュ書、2013年、825円(Kindle版)

「漢字文化論」「日本語の歴史と文化」とかかわりが深いです

請求記号:090/清泉T/今野先生、 新/811.2/Ko75

今野 真二『日本語 ことばあそびの歴史』河出文庫、2020年、1,210円

日本語学の入門として最適、「あとがき」に清泉の授業のことを紹介しています

請求記号:090/清泉T/今野先生

今野 真二『教科書では教えてくれないゆかいな日本語』河出文庫、2018年、748円

こちらも日本語学の入門として手に取りやすく読みやすいです

請求記号:090/清泉T/今野先生

窪塙 晴夫『通じない日本語』平凡社新書、2017年、1,166円

世代差と地域差を軸に、身近な日本語の「通じなさ」について紹介しています

請求記号:新/814.9/Ku14

小林 隆・澤村 美幸『ものの言いかた西東』岩波新書、2014年、990円
　　ものの言い方の地域差。方言に興味のある人におすすめ
　　請求記号:新/818/Ko12

井上 史雄『新・敬語論』NHK出版新書、2017年、385円(kindle版)
　　敬語の変化を中心に、日本語の変化の柔軟さについて述べられています
　　請求記号:新/815.8/I57

山口 仲美『犬は「びよ」と鳴いていた』光文社未来ライブラリー、2023年、1,056円
　　日本語の歴史、擬音語・擬態語に興味ある人におすすめ
　　請求記号:文15/4J/や1-1

北原 保雄編『問題な日本語—どこがおかしい? 何がおかしい?』大修館書店、2004年、880円
　　四コマ漫画が面白い
　　請求記号:810/Ki64/1

◆ 日本古典文学分野

角川書店 編『古事記』ビギナーズ・クラシックス日本の古典(角川ソフィア文庫)、2002年、792円
　　このシリーズは、現代語訳、次に本文・解説の順で載ってます
　　請求記号:文5/3J/ニ5-1

中嶋 輝賢 編『古今和歌集』ビギナーズ・クラシックス日本の古典(角川ソフィア文庫)、2007年、704円
　　古典の和歌のお手本は、実はこれ!
　　請求記号:文5/3J/ニ4-3

川村 裕子 編『更級日記』ビギナーズ・クラシックス日本の古典(角川ソフィア文庫)、2007年、792円
　　物語好きだった女の子の回想記
　　請求記号:文5/3J/す1-1

谷 知子 編『百人一首』ビギナーズ・クラシックス日本の古典(角川ソフィア文庫)、2010年、814円
　　古典の和歌のバリエーションが分かる
　　請求記号:文5/3J/ひ5-2

佐藤 至子 編『雨月物語』ビギナーズ・クラシックス日本の古典(角川ソフィア文庫)、2017年、792円
　　みやびな怪談をどうぞ
　　請求記号:文5/3J/う2-3

渡部 泰明『古典和歌入門』岩波ジュニア新書、2014年、1,034円
　　和歌は祈りという贈り物です
　　請求記号:新/911.1/W46

上野 誠『入門 万葉集』ちくまプリマー新書、2019年、836円
　　最古の和歌集をのぞいてみましょう
　　請求記号:新/911.12/U45

川村 裕子『平安女子の楽しい! 生活』岩波ジュニア新書、2014年、1,056円
　　紫式部の日常をのぞき見
　　請求記号:新/910.23/Ka95

小川 剛生『徒然草をよみなおす』ちくまプリマー新書、2020年、880円
兼好法師の素性を見直したら新しい徒然草がみえる
請求記号:新/914.45/O24

中川 右介『歌舞伎一年生:チケットの買い方から観劇心得まで』ちくまプリマー新書、2016年、858円
歌舞伎にはまると人生は楽しい
請求記号:新/774/N32

◆ 日本近代文学分野

前田 愛『文学テクスト入門』ちくま学芸文庫、1993年、880円
文学の読み方について、具体的な作品に即して入門します
請求記号:文6/2J/ま1-1

蓼沼 正美著、亀井 秀雄監修『超入門! 現代文学理論講座』ちくまプリマー新書、2015年、990円
文学の読み方についてのわかりやすい入門書
請求記号:新/901/Ta16

斎藤 美奈子『モダンガール論 欲望史観で読む女子の二〇世紀』筑摩eBOOKS、880円(kindle版)
女の子の視点で明治~昭和を見ます
図書館ではKindle版は所蔵しておらず①文春文庫版(請求記号 文8/1J/さ2-1)②マガジンハウス刊行(367.21/Sa25)があります。

泉 鏡花『夜叉ヶ池・天守物語』岩波文庫、1984年、506円
幻想文学が好きな方におすすめ
請求記号:文1/4J/い6-10

島崎 藤村『破戒』新潮文庫、2005年、825円
名作中の名作。映画も観てみてください
請求記号:文2/1J/し2-6

夏目 漱石『それから』岩波文庫、1989年、770円
代助が友人の妻・三千代との略奪婚に至る恋愛小説
請求記号:文1/4J/な11-31

徳永 直『太陽のない街』岩波文庫、2018年、935円
小林多喜二『蟹工船』と並ぶプロレタリア文学。意外と読みやすいです
請求記号:文1/4J/と5-2

川端 康成『山の音』新潮文庫、2022年 新版 825円
老いを自覚した父、復員兵の息子、戦争未亡人。敗戦後日本の物語です
請求記号:文2/1J/か1-9

三島 由紀夫『春の雪』新潮文庫、2020年 新版 990円
華やかな華族社会を舞台にした熱い恋愛小説。映画も観てみてください
請求記号:文2/1J/み3-21

大江 健三郎『万延元年のフトボール』講談社文芸文庫、1988年、2,090円
ノーベル賞作家の大作、ぜひ挑戦してみてください
請求記号:文4/3J/お1-1

国際文化領域 専攻言語：英語

◆ 英語学・異文化コミュニケーション

◆ 水谷 信子『日英比較話しこばの文法』くろしお出版、1985年
請求記号:835/62

鍋倉 健悦『異文化間コミュニケーション入門』丸善ライブラリー、1997年、1,100円
請求記号:新/361.45/N11

白井 恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』岩波新書、2008年、1,012円
請求記号:新/807/Sh81

山本 真郷、渡邊 寧『世界の広告クリエイティブを読み解く』宣伝会議、2023年、2,420円
請求記号:674.1/Y31

瀬戸 賢一『日本語のレトリック: 文章表現の技法』岩波ジュニア新書、2002年、1,034円
請求記号:新/816.2/Se93

中村 桃子『ことばが変われば社会が変わる』ちくまプリマー新書、2024年、968円
請求記号:新/801.03/N37

川原 繁人『なぜ、おかしの名前はパピップペポが多いのか?』ディスカヴァー・トゥエンティワン、
2023年、1870円 請求記号:801.1/Ka92

高野 秀行『語学の天才まで1億光年』集英社インターナショナル、2022年、1,776円
請求記号:804/Ta47

◆ 児童文学・翻訳

桂 宿子 編著『はじめて学ぶ英米絵本史』ミネルヴァ書房、2011年、3,080円
請求記号:902/Sh88/8

桂 宿子・牟田おりえ 編著『はじめて学ぶ英米児童文学史』ミネルヴァ書房、2004年
請求記号:902/Sh88/6

成瀬 俊一 編著『英米児童文学のベストセラー40; 心に残る名作』ミネルヴァ書房、2009年、1,980円
請求記号:909.3/N54

白井澄子・笛田裕子編著『英米児童文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房、2013年、2500円
請求記号:384.5/Sh81

河島 弘美『翻訳に挑戦! 名作の英語にふれる』岩波ジュニア新書、2024年、990円
請求記号:新/837.5/Ka97

柳瀬 尚紀『翻訳はいかにすべきか』岩波新書、2000年
請求記号:新/801.7/Y56

安西 徹雄『英文翻訳術』ちくま学芸文庫、1995年、968円

請求記号:文6/2J/あ5-1

越前 敏弥『越前 敏弥の日本人なら必ず誤訳する英文』ディスカヴァー携書、2013年、1,100円

請求記号:新/837.5/E18(図書館所蔵は2009年刊のもの)

国際文化領域 専攻言語 : スペイン語

◆ 「ことば」を学ぶ

鈴木 孝夫『ことばと文化』岩波新書、1973年、1,012円

請求記号:新/801/Su96

千野 栄一『外国語上達法』岩波新書、1986年、1,012円

請求記号:新/807/C47

田中 克彦『ことばと国家』岩波新書、1981年、1,012円

請求記号:新/801/Ta84

黒田 龍之助『はじめての言語学』講談社現代新書、2004年、946円

請求記号:新/801/Ku72

黒田 龍之助『外国語をはじめる前に』ちくまプリマー新書、2012年、858円

請求記号:新/801/Ku72

◆ 歴史・文化・社会について考える

立石 博高『スペイン史10講』岩波新書、2021年、1,100円

請求記号:新/236/Ta94

増田 義郎『物語ラテンアメリカの歴史』中公新書、1998年、946円

請求記号:新/255/Ma66

山本 紀夫『ジャガイモのきた道—文明・飢饉・戦争』岩波新書、2008年、1,012円

請求記号:新/616.8/Y31

ソル・ファン著、旦 敬介 訳『知への賛歌—修道女ファンの手紙』光文社古典新訳文庫、2007年

請求記号:文15/2F/フ2-1

◆ 文学作品 : ラテンアメリカ

ガブリエル・ガルシア=マルケス著、鼓 直 訳『百年の孤独』新潮文庫、2024年、2,475円

請求記号:文2/1F/カ24-2

フリオ・コルタサル著、木村 榮一 訳『遊戯の終わり』岩波文庫、2012年、726円

請求記号:文1/5F/コ16-2

イサベル・アジェンデ著、木村 榮一 訳『精霊たちの家(上・下)』河出文庫、2017年、1,210／1,310円

請求記号:文13/2F/ア1-1-1

請求記号:文13/2F/ア1-1-2

ルイス・セプルベダ著、河野 万里子 訳『カモメに飛ぶことを教えた猫(改版)』白水Uブックス、2019年、990円

請求記号:新/963/Se78

野谷 文昭 編『20世紀ラテンアメリカ短篇選』岩波文庫、2019年、1,155円

請求記号:文1/5F/ニ5-1

◆ 文学作品：スペイン

ミゲル・デ・セルバンテス著、牛島 信明 編訳『ドン・キホーテ』岩波少年文庫、2000年新版、1,012円

請求記号:文1/9F/セ1-2

フェデリコ・ガルシア・ロルカ著、牛島 信明 訳『血の婚礼 三大悲劇集 他二篇』岩波文庫、1992年

請求記号:文1/5F/カ8-1a

カルロス・ルイス・サフォン著、木村 裕美 訳『風の影(上・下)』集英社文庫、2006年、1,045／1,100円

請求記号:文3/1F/ル1-1-1

請求記号:文3/1F/ル1-1-2

文化史領域

宮崎 市定『科拳：中国の試験地獄』中公新書、1963年、748円

請求記号:新/372.22/Mi88

水野 敬三郎『奈良・京都の古寺めぐり 仏像の見かた』岩波ジュニア新書、1985年、1,034円

請求記号:新/718/Mi96

高階 秀爾『油彩画誕生からマネまで』岩波新書 [名画を見る眼：カラー版；1]、2023年、1,364円

請求記号:新/723/Ta54-1

福留 真紀『將軍と側近-室鳩巣の手紙を読む』新潮新書、2015年、858円

請求記号:090/清泉T/福留先生

山本 博文『歴史をつかむ技法』新潮新書、2013年、880円

請求記号:新/210.01/Y31

山我 哲雄『キリスト教入門』岩波ジュニア新書、2014年、990円

請求記号:新/190/Y21

石川 明人『宗教を「信じる」とはどういうことか』ちくまプリマー新書、2022年、968円
請求記号:新/160/I76

中村 圭志『教養としての宗教入門-基礎から学べる信仰と文化』中公新書、2014年、924円
請求記号:新/160/N37

『日本歴史』編集委員会 編『恋する日本史』吉川弘文館、2021年、2,200円
請求記号:210.04/Ko34

東京大学史料編纂所 編『日本史の森をゆく 史料が語るとっておきの42話』中公新書、2014年
請求記号:新/210.04/N71

島薦 進『宗教を物語でほどく アンデルセンから遠藤周作へ』NHK出版新書、2016年、946円
請求記号:新/902.09/Sh45

地域共生領域

瀬谷 ルミ子『職業は武装解除』朝日文庫、2015年、704円

武装解除・平和構築分野において活躍する日本人女性、瀬谷ルミ子氏の活動とキャリアがよく分かる一冊です。平和のために働きかける一つのアプローチとして参考ください。

請求記号:文10/1J/せ1-1

パウロ・フレイレ著、三砂 ちづる 訳『被抑圧者の教育学—50周年記念版』亞紀書房、2018年、2,860円
社会における暴力構造と教育がどのように繋がっているか。その中で教育を通じて人々の解放と人間性の回復をどのように可能にしていくのか。これから学びを深めていく中で一度は読んでいただき、自身の学びの環境と実践を考えるきっかけとしてももらいたい一冊です。

請求記号:371.1/F46

堀 芳枝 編『学生のためのピース・ノート2』コモンズ、2015年、2,310円

「平和」を実現することは簡単なプロセスではなく、様々な課題定義と取り組みが必要になります。当文献は様々なケーススタディを通して平和を妨げる課題とそれらの課題への取り組みが紹介されています。

請求記号:319.8/G16/2

山口 周『世界のエリートはなぜ「美意識」を鍛えるのか?』光文社新書、2017年、836円

「役に立つ」から「意味がある」へ。不確実で将来が将来の予測が困難な時代を生き抜くための考え方を提供しています。

請求記号:新/159.4/Y24

コリン・ジョイス著、谷岡健彦訳『「ニッポン社会」入門 英国人記者の抱腹レポート』生活人新書、2006年、770円

外国人として日本に住んだ著者が、日本の文化や習慣を面白おかしく紹介します。

請求記号:新/361.42/J85

高橋 源一郎『ぼくらの民主主義なんだぜ』朝日新書、2015年、858円

日本が直面する問題をわかりやすく説明し(特に若者を対象として)一步先の未来を考えるヒントを示してくれます。

請求記号:新/304/Ta33

伊藤 亜紗 編『利他とは何か』集英社新書、2021年、1,034円

人や社会に良いことをしようとする気持ちは、どのようにうまれるのでしょう。ハッとする気づきがありますよ。

請求記号:新/151.5/R48

岸 政彦『断片的なものの社会学』朝日出版社、2015年、1,716円

人の話を聞くのって好きですか？この本にはいろいろな人のストーリーが出てきて、エッセイのようにも読めます。

請求記号:914.6/Ki56

桐光学園+ちくまプリマー新書編集部 編『科学は未来をひらく』ちくまプリマー新書 中学生からの大学講義3、2015年、946円

このシリーズは「続」も含めると8冊もあります。私はこの「3」が好きなのですが、みなさんいかがでしょう。

請求記号:新/404/Ka16

山本 紀夫『ジャガイモのきた道～文明・飢饉・戦争』岩波新書、2008年、1,012円

南米で栽培化されたジャガイモのグローバル化をていねいにたどった本です。むしようにジャガイモが食べたくなります。

請求記号:新/616.8/Y31

北川 民次『絵を描く子供たち-メキシコの思い出』岩波新書、1952年、1,144円

戦前に単身メキシコにわたった日本人画家の手記です。絵を描くことは、よりよく生きることだと教えてくれる不朽の名著です。

請求記号:新/375.72/Ki63

伊高 浩昭『チェ・ゲバラ-旅、キューバ革命、ボリビア』中公新書、2015年、968円

世界に大きな影響を与えた南米出身の革命家の人生を通して、世界の不平等解消のむずかしさを考えさせる本です。

請求記号:新/289.3/G91

白井 恒弘『外国語学習の科学： 第二言語習得論とは何か』岩波新書、2008年、1,012円

外国語を学ぶ時どのようにして上達するのか、これまでに分かっていることがまとめられています。これを読んで実践すれば皆さんも外国語があつという間に上達するかもしれません。

請求記号:新/807/Sh81

鈴木 孝夫『ことばと文化』岩波新書、1973年、1,012円

言語はどのように文化や社会の影響を受けるのか、日本語の性質はどのようなものかなど、ことばの問題に興味をもつ人にとっての入門書です。

請求記号:新/801/Su96

庵 功雄『やさしい日本語-多文化共生社会へ』岩波新書、2016年、1,056円

日本の政府は正式に「移民」を受け入れるとは言っていませんが、現実に日本に移住してきた家族やその子どもで日本語があまり話せない人も多くいます。日本は「やさしい日本語」が役に立つ社会になりつつあります。

請求記号:新/810.7/I61

マイケル・サンデル 著、鬼澤 忍 訳『これからの「正義」の話をしよう-いまを生き延びるための哲学』ハヤカワ文庫、2011年、990円

具体的な問題を次から次へと検討しつつ、倫理学の基本的な理論を分かりやすく解説してくれる。高度な知的トレーニングのために、先を読みたくないのをがまんしてじっくり読むことを勧めます。

請求記号:文16/4F/サ2-1

ダン・アリエリー 著、熊谷淳子 訳『予想どおりに不合理：行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ』ハヤカワ文庫、2013年、1,210円

われわれの思考に潜むさまざまな落とし穴を、多様な研究事例を紹介しつつ、これでもかと思い知らてくれる。人間の賢さと愚かさが表裏一体であることを教えてくれます。

請求記号：文16/4F/ア1-3

小室 直樹『日本人のための憲法原論 新装版』集英社、2023年、2,420円

著者は多くの分野でアカデミックなトレーニングを重ねた在野の学者。さまざまな学問分野の知見をもとに、軽妙洒脱に憲法の本質を語る。目から鱗とはこのことかと、何度も思わされます。

請求記号：323.01/Ko69

ソーシャルデザイン領域

ティナ・シーリグ著、高遠 裕子訳『新版 20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義』CCCメディアハウス、2020年、1,650円
クリエイティブに生きていくことが楽しく思えます。
請求記号:159/Se15

大久保 幸夫・石原 直子『女性が活躍する会社』日経文庫、2014年、913円
女性が活躍するためのヒントが詰まっています。
請求記号:新/336.4/O54

岩崎 夏海『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』新潮文庫、2015年、693円
経営学に親しみが持てます。
請求記号:文2/1J/い125-1

NPO法人Waffle『わたし×IT=最強説 女子＆ジェンダーマイノリティがITで活躍するための手引書』リトルモア、2023年、1,870円
ITの分野は女性にとって一見、縁遠いように感じるかもしれませんが実際には活躍している女性がたくさんいます。そういった方々の体験談が詰まったテクノロジーについて女子学生が興味を持つきっかけになる一冊です。
請求記号:007.35/W13

美馬 のゆり『AIの時代を生きる: 未来をデザインする創造力と共感力』岩波ジュニア新書、2021年、946円
AIの進歩につれて社会が変化していくことは実は以前から議論されています。そういった様々な論点や社会が変化する部分の例をわかりやすく取り上げた書籍です。
請求記号:新/007.3/Mi31

今井 翔太『生成AIで世界はこう変わる』SB新書、2024年、990円
2022年から爆発的に世界に広まった生成AI、その生成AIの特徴や社会への影響などを詳しく解説した一冊です。生成AIに関する書籍は多数出版されていますがこちらは特にベストセラーになった一冊です。
請求記号:新/007.3/I43

澤田 智洋『マイノリティデザイン—「弱さ」を生かせる社会をつくろう』ライツ社、2021年、1,870円
障害者のために開発されたモノの中には、多くの人の役に立っているモノがあります。「マイノリティを起点に物事を考えよう。弱さは社会の伸びしろ」というアイデアが示されています。
請求記号:369.04/Sa93

東 浩紀『弱いつながり-検索ワードを探す旅』幻冬舎文庫、2016年、594円
おもしろい出会いを求めるなら、旅にして、ネットを検索しようと東さんは提案します。旅して学ぶ地球市民学部生にぴったりの本だと思います。メディア論としても楽しめます。
請求記号:文12/1J/あ3-1

小熊 英二『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』講談社現代新書、2019年、1,430円
なぜ、みなさんは大学に入るのか？日本の大学の学びはなぜこのようなしくみになっているのか？日本での就活はなぜこのようなスタイルになっているのか？それには歴史と理由があるのです。
請求記号:新/362.1/O26

近内 悠太『世界は贈与でできている 資本主義の「すきま」を埋める倫理学』ニュースピックス、
2020年、1,980円

実はわれわれのまわりを注意深く見回していると、実に多くのものが名もなき先人たちからの「ギフト(贈り物)」でできていることに気がつきます。そのことに気がついてしまったとき、気がつけたとき、ここから「未来の地球市民」らしい思考と行動がはじまると思っています。新しい、社会・経済・政治の仕組み(システム)を構想する上でおすすめの一冊です。

請求記号:104/C44

スティーブン・ジョンソン著、田沢恭子訳『ピア：ネットワークの縁から未来をデザインする方法』イ
ンターシフト、2014年

ピア(PEER)とは、対等な仲間や同僚たちを意味する言葉です。誰かエライ人がいて指示したり命令したりするのではなく、このピア・ネットワークでは、お互いが対等な仲間です。ネットワーク論の視点から、新しい社会・経済・政治システムを考える上でのヒントを、具体的な事例と共に示してくれる一冊です。

請求記号:361.3/J64

田中 俊徳『オーバーツーリズム解決論-日本の現状と改善戦略』ワニブックスPLUS新書、2024年、990円
オーバーツーリズム状態を回避して、サステナブル・ツーリズムの世界へと踏み込んでいくために、
政治や政策はどんな役割を果たすことができるのか(果たすべきなのか)。豊かな自然環境を守りながら、持続可能な産業をどう育成したらいいのか。放っておくと大変なことになりかねない日本の現状と、解決の方向性を、国立公園管理の視点を交えながら教えてくれる一冊です。

請求記号:新/689.21/Ta84

基幹教育

ジャレド・ダイアモンド著、倉骨 彰 訳『銃・病原菌・鉄(上・下)』草思社文庫、2012年、1,210円(上下とも)

請求記号:文53/1F/タ2-2-1

請求記号:文53/1F/タ2-2-2

齋藤 幸平『人新世の「資本論」』集英社新書、2020年、1,122円

請求記号:新/331.6/Sa25

小川 幸司、成田 龍一 編『世界史の考え方』シリーズ 歴史総合を学ぶ① 岩波新書、2022年、1,276円

請求記号:新/209.5/Se22

成田 龍一『歴史像を伝える』シリーズ 歴史総合を学ぶ② 岩波新書、2022年、1,276円

請求記号:新/209.5/N52

小川 幸司『世界史とは何か』シリーズ 歴史総合を学ぶ③ 岩波新書、2023年、1,100円

請求記号:新/209.5/O24

マーク・ピーターセン『日本人の英語』岩波新書、2014年、990円

請求記号:新/830.7/P45-1

滝川 一廣『「こころ」の本質とは何か』シリーズ人間学5 ちくま新書、筑摩書房、2004年、924円

請求記号:新/493.71/Ta72

御代田太一著、金井真紀絵『よるべない100人のそばに居る。〈救護施設ひのたに園〉とぼく』河出書房新社、2023年、1,782円

人が生きるとはどういうことなのか、立ち止まる一書になると思い、選びました。読みやすい本です。

請求記号:369.2/Mi91

神谷 美恵子『生きがいについて』みすず書房、2004年、1,980円

私も大学1年生の時に読みましたが人生について深く考えさせられる本でした。津田塾大学入学生の必読本だったと津田塾の友人から聞きました)

請求記号:914.6/Ka39/1

マルクス・アウレーリウス 著、神谷 美恵子 訳『自省録』岩波文庫、2007年、1,078円

『生きがいについて』を読んだ後に読むと人生に対する洞察がさらに深まると思います。古典ですが、大変読みやすいと思います。

請求記号:文1/1F/マ5-2

今井 むつみ・秋田 喜美『言語の本質—ことばはどう生まれ、進化したか』中公新書、2023年、1,056円

絵本のオノマトペから抽象的で複雑な言語体系を獲得するための思考実験について、ヒトとAIの違いなどが説明されていますが大学生など初学者にもわかりやすく多くの事例や実験が紹介され、読みやすいと思います。

請求記号:新/801/I43

北山忍『文化が違えば、心も違う？—文化心理学の冒険』岩波新書 2025年
請求記号:新/361.5/Ki74

高野 一枝『図書館と向き合う：まちづくり・読書バリアフリー・デジタル活用』青弓社 2025年
請求記号:010.21/Ta47

東大カルペ・ディエム著・西岡壱誠監修『ぼくたちはChatGPTをどう使うか：14歳から考えるAI時代の学び』
三笠書房2025年
請求記号:007.13/Ka69

長嶺超輝『恋の六法全書 ガールズトークは“罪”ですか?』CEメディアハウス2011年